

北星学園大学 後援会だより

VOL.131



Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行日 2017年12月1日
発行者 北星学園大学後援会事務局
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
電話 (011)891-2731
印刷 (社福)北海道リハビリ



学校法人北星学園は
創立130周年を迎えました。



全体会の様子(帯広)

今年度も道内各地で地区別父母懇談会を開催し、10月28日(土)第2回札幌地区父母懇談会をもって全懇談会を終了いたしました。今年度は、全会場合計で約500組の申し込みがあり、多くの皆様にご参加いただきました。全体会では大学の近況報告・修学関係及び就職状況について説明がありました。その後、学科教員による個別面談や就職支援課職員による就職相談を行いました。また、個別面談までの待ち時間には、ご父母同士でご歓談される様子も見られました。ご父母の皆様にとっては、成績や就職関係などお子様の大学生活について知る良い機会となったことと思います。

父母懇談会では毎回アンケートを実施しており、今年も多くの感想や労いの言葉をいただきました。ありがとうございます。なお、ご意見やご要望については、より充実した父母懇談会を開催できるように参考にさせていただきます。

地区別父母懇談会が終了しました!

来年度の日程は、『後援会だより』や大学ホームページにて決定次第お知らせいたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

(ご父母の皆様からのアンケートより)

我が子の学業の様子や学生生活に対するアドバイスなどの確に伝えていただけることから、今後ともこの取り組みを充実させてほしいと思います。(7月札幌)

大学でこのような懇談会を開催されていることは保護者としてはとても有難く、また安心感も得ることが出来ます。(8月旭川)

修学の仕方が具体的にわかりました。これを参考にして子供に声をかけていこうと思います。(8月北見)

1年生ということで、大学生活を無事スタートできたか心配でしたが、先生の話を聞いて、安心しました。(9月帯広)

他の学年の方のお話が聞けて良かったです。学科のお話もいろいろ聞けて参考になりました。(9月釧路)

毎年参加させていただいていますが、大学の様子をうかがうことができ、とてもありがたいです。思っております。(9月函館)



個別面談の様子(10月札幌)

就職や留学の実際の方法について大変参考になりました。(9月苫小牧)

なかなか大学に行ける機会がなく、父母懇談会は毎回楽しみにしております。とても恵まれた環境で勉強できるのは幸せなことだと思います。(10月札幌)



個別面談の様子(旭川)

卒業記念祝賀会のご案内

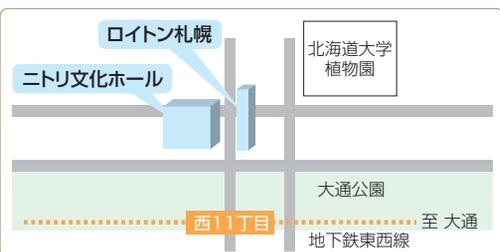
2017年度卒業式・卒業記念祝賀会が下記のとおり挙行されますので、ご案内いたします。ご父母の方も是非ご出席ください。

卒業式

日時: 2018年3月15日(木)
全学部 13:00~
場所: ニトリ文化ホール(さっぽろ芸術文化の館)
(札幌市中央区北1条西12丁目)

卒業記念祝賀会

日時: 2018年3月15日(木)
全学部 16:30~
場所: ホテルロイトン札幌
(札幌市中央区北1条西11丁目)



星学祭を終えて

第56回大学祭実行委員会 委員長 小山優汰伽

今年度の星学祭は天候に恵まれ、多くの方々にご来場いただきました。そして、関係者の方々の多大なご支援とご協力のおかげで大盛況のうちに無事終了することができました。今年度はC館1階の装飾に力を入れ、来ていただいた皆様が見ただけで楽しくなるように仕上げました。さらにアイドルのEver ZOneを招いて様々なイベントに参加していただきました。また、今年のアーティストライブは「a flood of circle」「Shiggy Jr.」「J-ANKEN」の3組が出演し、大変盛り上がりしました。

今年度の星学祭のスローガンは「星下天光」です。このスローガンの元になった四字熟語「上下天光」には「水と空のもとで光り輝く」という意味があります。星学祭に参加する在学生と一般の方々が一丸となって光り輝くような星学祭にしよう、という思いを込めてこのスローガンを採用しました。スローガンに込められた思い通り、模擬店ややさこい、子供から大人まで楽しめるもちまき、その他にも飛び入りで参加できるイベントなどにより、多くの方々に喜んでいただけたと感じております。

最後になりましたが、北星学園大学後援会からも「北星学園大学のサポーター」としてご協力いただいたことに、厚くお礼申し上げます。来年度もより一層皆様に楽しんでもらえるよう大学祭実行委員会一同努力してまいりますので、これからも皆様のご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。



恒例のもちまきの様子

就職活動体験談



内定先 日本航空株式会社

文学部 英文学科 梶屋 亜紀

就職活動を終えてみて、これほど自分に向き合える期間はなかったと思いました。

私は一年間休学をし、ワーキングホリデーを経て、3月から就職活動を開始しました。休学前から客室乗務員への憧れはありましたが、本当にその仕事に就きたいのかわかりませんでした。しかし多国籍の中での生活を体験したことで、より多くの人と関わり、異文化の中で働く客室乗務員として働きたいという思いが強まりました。

選考が始まり、いざ面接を受けると頭で考えていたことがまとまらず、うまく伝えられないことで苦労しました。そこで航空業界特別講座で学んだことを見直し、就職支援課に相談し、練習してもらいました。実際に自分の話を誰かに話したり、声に出して練習することで自分の思いがまとまり、自分の言葉で伝えられるようになりました。また客室乗務員は接客業なので、面接内容だけではなく立ち居振る舞いも大切です。そのため普段の授業やアルバイトでも姿勢や言葉遣い、笑顔を意識するよう心がけていました。

就職活動は思うようにいかず辛いこともあると思いますが、自分が今まで何を思い、何をしてきたのか、そして何をしたいのか、たくさん悩んで納得のいく就職活動にしてください。



内定先 札幌地方検察庁

経済学部 経済法学科 星野 眞輝

私が国家公務員を目指し、就職活動を体験して学んだことは、積極性とあきらめないことの重要性です。

説明会などは、特定の官庁に絞らず、少しでも興味のあるものには複数回参加していました。そうすると、今まで視野に入れていなかった分野の仕事にも興味を持ち、将来の選択肢が増えました。説明会など様々なイベントを通して多くの官庁と接することは、自分の知見を広げるためにも大変有効です。ぜひ、勉強だけでなく公務員関連のイベントにも積極的に参加してください。

また、学生生活においては3団体に所属し、各々で役職に就くなど積極的に活動していました。その甲斐もあり、面接で学生生活について聞かれた際は、経験を踏まえてスムーズに話すことができました。何事も積極的に活動していれば、その結果は何らかの形でプラスに還元されると思います。

そして、「あきらめない」ことの重要性です。公務員試験は長期戦です。ずっと勉強してきたのに模試で思うように点数が取れなかったりすると挫けそうになります。しかし、そんなときは仲間と励まし合い、競い合いながら乗り越えてきました。目標を定め、それに向かってあきらめずに走り抜く。そうすれば公務員試験は突破できると思います。



内定先 医療法人 王子総合病院

社会福祉学部 福祉臨床学科 川端 沙季

私は、3月から徐々に就職活動を始め、自分がやりたい仕事は何かを考えると、福祉業界に限らずできるだけ多くの説明会に参加しました。多くの企業を見ることで、やはり自分は社会福祉士の国家資格を取得し、病院でMSW(医療ソーシャルワーカー)として働きたいという気持ちを再確認できました。就職活動を通して感じたのは「この病院で働きたい」という気持ちを、面接で伝えることの大切さです。そのために、見学に行き病院の特徴を知り、どのような取り組みが行われているのかを調べました。

面接では、質問を掘り下げて聞かれることがありましたが、学生生活での経験や病院実習で得た経験と知識を振り返り、自分の気持ちを相手に伝えるよう心掛けました。

また、内定をいただけたのは就職支援課の方々のご協力があったからこそだと感じています。就職活動はとても不安になりますが、添削指導や面接練習を通してアドバイスを受け、自分では気づかなかった考え方を発見し、整理することができました。

福祉系の求人民間企業と比べると選考時期が遅いケースが多く、焦りを感じることもあると思います。しかし自分のペースを大切に、これまでの経験に自信を持って、就職活動に臨んでください。



内定先 株式会社プリンスホテル

短期大学部 英文学科 大居絵里香

私は、1年生の後期にカナダに留学をしました。留学がきっかけとなり、日本に来る外国人におもてなしをして、もっと日本を好きになってもらいたいと思うようになり、ホテル業界を志望しました。

そして、3月から就職活動を開始し、就職支援課の方々に大変お世話になりました。履歴書は採用担当者の目に止まるよう、時間をかけて言葉を選び、何度も添削をお願いしました。また、面接練習では自分の言葉で思いを表現できるよう、アドバイスをいただき、本番でもしっかりと自分の考えを伝えることができました。また、就職活動をする中で、友人の存在は非常に大きかったと思います。お互いに情報を交換したり、励ましあったり、一人ではないと思えたことがとても支えになりました。

就職活動を開始される皆さん、今のうちに、様々な経験を積むことが大切です。私は、サークル、アルバイト、インターンシップなどには参加しておらず、履歴書を書くときにアピールできる点が少なく悔しい思いをしました。ですから、積極的に行動し、たくさんの方に挑戦してください。その経験は就職活動にも必ず活かすことができ、自分の夢を叶えることにも繋がります。



English Camp in 北星 2017 報告

全道の高校1・2年生を対象に10月14日(土)・15日(日)の1泊2日「English Camp in 北星 2017」を開催しました。

このプログラムは昨年に引き続き2回目の開催でしたが、今年は、「日本語タートル」世界で有名になった日本人の活躍を紹介しよう」をプレゼンテーマに、道内各地の多くの応募者の中から選ばれた18名の高校生と本学の学生6名、交換留学生6名が混合し、各チーム5人で6チームに分かれ、活動しました。

2日間のプログラムでは、留学生と大學生、高校生が寝食を共にして、様々なアクティビティやグループワーク、そして活動の集大成として「きやりーばみゅばみゅ」「初音ミク」「Taka (ONE OK ROCK)」「Yoko Ono」「イチロー」「宮崎駿」をテーマにプレゼン発表を行いました。高校生の英語を堂々と話す姿には驚かされましたが、1泊2日のこのプログラムを通じて実際に英語を話す難しさも実感した様子で貴重な機会となりました。

本学の国際交流にかかる様々な活動には、毎年、北星学園大学後援会の多大なご高配とご支援をいただいておりますことをこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

国際教育課長 川島 善孝

50円朝食キャンペーンを実施しました！

学生医療互助会では、今年度も4月・5月・9月・10月の4回（各1週間）、50円朝食キャンペーンを実施しました。この企画は、一人暮らしでご飯を作るのが大変、朝が苦手な学生のために大学生協と連携し、年に数回学食で、50円の朝食を提供しています。

昨年度から始まったキャンペーンではありますが、大変好評で毎回100名近くの学生が利用しています。朝食の内容は日替わりで、約400円相当のメニューを提供しています。（内、350円分は学生医療互助会負担）
主菜・小鉢2品・ご飯・味噌汁の組み合わせで、ご飯はサイズも選

択でき、中にはおかわりをする学生もいます。味はもちろん栄養もボリュームも満点の朝食をしっかりと食べ、授業や部活動により一層励む学生の姿が見られました。

また、朝食だけではなく体育祭では「50円昼食キャンペーン」を実施しました。今年度はカツ丼を提供し、439名の学生が利用しました。

学生医療互助会では、今後も学生たちが健康的な学生生活を送れるようにあらゆる面からサポートをしていきますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



全国大会出場報告

陸上競技部

社会福祉学部 福祉臨床学科2年 遠山ちひろ

私は9月8～10日に福井県営陸上競技場で行われた、天皇賜盃第86回日本学生陸上競技対校選手権に100mハードルで出場しました。これは、各都市で開催される大会において標準タイムを突破した選手、又は優勝者が出場できます。私は5月に行われた北海道学生陸上競技対校選手権で優勝し、出場権を手にすることができました。

全国大会は各地から強い選手が集まり、いつもと違う雰囲気や圧迫されました。そのため、自分の実力を発揮できず、組で7着という結果となりました。これからは、大きな舞台でもいつも通りのパフォーマンスができるようメンタル面と走力の強化を中心に、陸上部のみんなと一緒に努力していきたいです。また、日頃から支えてくれるマネージャーや顧問のためにも、結果で恩返しができると思います。

この全国大会で、東洋大学の桐生選手が日本人初の9秒台を出しました。会場でそのレースを見ることができ、とても刺激を受けました。今シーズンは終わってしまいましたが、来シーズンに向け、冬季練習に励んでいきます。

今回全国大会に臨むにあたって、ご支援してくださった後援会の皆様、ありがとうございました。今後ともご支援と応援よろしくお願いいたします。

男子バレーボール部

経済学部 経済法学科2年 小山内崇勢

私たち男子バレーボール部は6月22～24日に東京都日野市にある日野市市民の森ふれあいホールで行われた第36回東日本バレーボール大学選手権大会に出場しました。

この大会はトーナメント形式で行われ、私たちは初戦で明星大学と対戦しました。25-19、19-25、25-18、30-28と接戦が続きましたが、第4セットでは1本1本を大事に集中して、選手一丸となってボールを繋ぎ、勝利へと結びつけることができました。第2試合では富山大学と対戦し、14-25、12-25、13-25でストレート負けという結果になりました。

毎年この東日本インカレに出場していますが、一度も試合で勝つことができず、悔しい思いを重ねてきました。しかしその中で、全国大会初勝利という結果を収めることができ、私たちにとって大きな自信へとつなげることができました。

これからの練習では、今大会で得た経験や課題点をしっかりと修正していき、さらにレベルを高めていけるように努力を重ねていこうと思います。

今大会に臨むにあたり、ご支援してくださった後援会の皆様、本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



100mハードルの様子（左から3番目が遠山さん）



全国大会初勝利後の集合写真

学部・学科主催事業 開催報告

「卒業生と在学生の交流会」を終えて

短期大学部英文学科 教授 森越 京子

北星学園大学後援会から事業助成のご支援を賜り、2017年7月21日(金)、本学を会場に「北星学園大学短期大学部英文学科卒業生と在学生の交流会」を開催いたしました。

これは、昨年実施した「観光・ホスピタリティ・航空業界セミナー」に引き続き、学生のキャリアについて考える学科イベントであり、今年も金融や公務員といった分野も含め、幅広い業種で活躍している16名の卒業生をゲストスピーカーとして招きました。卒業生、在学生、教員、合わせて90名が参加し、はじめに伊藤恵子氏を講師に、「ポジティブな自分を磨く(言葉の花束)」というテーマでワークショップを行いました。次に、小グループに分かれて、卒業生から、短大卒業後の進路や海外での経験、さらに現在の具体的な仕事の内容について話を聞くことができ、在学生にとっては将来のキャリア・パスを考える貴重な機会となりました。イベントの最後に、センター棟1Fの国際ラウンジにて懇親会を行い、さらに交流を深めることができました。在学生にとっては、身近な先輩である卒業生からアドバイスを受ける良い機会となり、卒業生にとっては様々な業種に就いている世代を超えた卒業生同士のネットワークを広げることとなりました。最後に、大学後援会をはじめご協力いただきました皆様へ心より感謝申し上げます。



「ポジティブな自分を磨く(言葉の花束)」ワークショップでの様子

コンサート・講演会報告

TENGO 情熱ライブ

9月16日(土)14:00から、アコーディオン奏者・後藤ミホコさんとバイオリニスト・天野紀子さんのデュオ、TENGOをお招きし、チャペルコンサートを開催いたしました。

当日は秋晴れのよい天気にも恵まれ、地域の方を中心に164名の方にご来場いただきました。

「チャールダーシュ」「黒い瞳」といったロシアの曲や、「また君に恋してる」「恋のバカンス」といった耳馴染みのある曲まで幅広い演目を情熱的に演奏されました。楽しいトークも交えながら、あっという間の1時間半となりました。



長谷川義史講演会「絵本で子どもたちに伝えたいこと」

11月4日(土)本学図書館棟にて、絵本作家長谷川義史さんをお招きし、『絵本で子どもたちに伝えたいこと』と題して講演していただきました。当日は、長谷川さんの絵本に親しんでいる方たちや幼児保育に携わる方など189名の方が来場してくださいました。

講演では、ご自身の幼少期のエピソードを大きな模造紙に筆で絵を描きながらお話して下さったり、長谷川さんの絵本6冊を読み聞かせしてくださいました。ユーモアたっぷりの長谷川さんの講演に、会場は笑いあり涙ありの1時間半となりました。長谷川さんの絵本を通し、これから生きる子供たちのために平和な世界が続くことを願いたいと思われた講演会でした。



スミス・ミッションセンターからのお知らせ
チャペル・クリスマスイベント 2017

【クリスマスツリー点灯式】

日時:12月4日(月)18:00~18:30
会場:B館玄関前(チャペル横)

点灯:田村 信一 学長 司式:SMC学生団体ミュージック
演奏:チャペル・クワイア、NSBC(ゴスペル)

【クリスマス礼拝(キャンドルサービス)】

日時:12月22日(金)18:00~19:00(予定)
会場:北星学園大学チャペル

メッセージ:遠藤 稔氏(札幌東栄福音キリスト教会牧師)
司式:日高 嘉彦(チャプレン)
演奏:米本 悦子(オルガニスト)
演奏:チャペル・クワイア、ハンドベル・クワイア、NSBC(ゴスペル)



【ハンドベル・クワイアクリスマスチャペルコンサート】

日時:12月23日(土・祝)14:00~
会場:北星学園大学チャペル

演奏:ハンドベル・クワイア(本学学生・OG)

ともに入場無料・申込不要です。
お問い合わせ:総務人事課 011-891-2731
(内線4376 担当:佐々木)まで

コンサートのお知らせ

ムジカ・アンティカ・サッポロ コンサート
「哀しみの聖母」

日時:12月9日(土)開場13:30 開演14:00
会場:北星学園大学チャペル
出演者:ムジカ・アンティカ・サッポロ
駒ヶ嶺ゆかり(アルト)
阿部 雅子(ソプラノ)

演奏曲目:D. ブクステフーデ:カンタータ『主よ、汝さえこの世にあれば』BuxWV38
G. F. ヘンデル:歌劇『セルセ』よりアリア「オンブラ・マイ・フ」
G. B. ベルコレージ:スタバート・マーテル〈悲しみの聖母〉(全曲) ほか

※入場無料・要申込
申込先:同窓会事務局(社会連携課内)
TEL:011-891-2731
メール:dousukai@hokusei.ac.jp
申込期間:12月8日(金)まで



あ と が き

クリスマスを目前に控え、学内にも賑やかな雰囲気広がっています。

さて、7月から始まった地区別父母懇談会も無事に終了することができました。今年も多くの方々にご参加いただき、大変嬉しく思っております。

(後援会事務局 大津)

北星学園大学
教育振興寄付金ご芳名
募金のご協力に深く感謝申し上げます。
2017年7月1日から10月31日まで
(敬称略)

寄付
☆大学・短期大学部
(父母・同窓生・一般・旧教職員・理事)

上野 武治	日興美装工業株式会社	岸 一郎	渡辺 昌美	長南 亨	蛸子 達也
大山 綱夫	山崎 孝博	大谷 敬二	渡辺 誠二	大隅 章雄	島山 みほ
	樋田繁治郎	乗田 勉	土田 雅敏		

「大学サポーターズ寄付金」を開始しました

北星学園大学及び短期大学部では、財政基盤の充実・強化を図り、教育研究、学生支援、社会貢献等に係る各種事業をさらに発展させることを目的に「北星学園大学サポーターズ寄付金」を開始しました。

この寄付金は、寄付者自らの思いを直接活かせるよう、ご寄付の用途先をお選びいただけます。またクレジットカードの利用によりインターネットでもお申込みいただくことができ、税控除の対象ともなります。

皆さま一人ひとりが大学・短大部のサポーターとして、ご協力いただけると幸いに存じます。お申込み方法等の詳細につきましては、大学ウェブサイトをご覧ください。

http://www.hokusei.ac.jp/donation/